

6月

なかよく たっしやで きばる子



令和4年6月17日(金) 文責:校長 大久保

今 この時！ 全速力で 優勝へゴー！

運動会が終わり1週間が過ぎました。運動会が終わったら私もすぐに学校だよりを書こうと思っていたのですが、その前に学年だよりが次々と回ってきました。どの学年の担任からも大きな充実感と子どもたちの成長を感じた喜びが伝わってきました。それぞれの学年の種目ごとに発達段階に応じた取組や成果は学年だよりに書かれている通りです。同じことはここには書きませんが、子どもたちの一生懸命な姿、純粋な心で頑張る姿、運動会に取り組んできたこのわずかな期間で得られたものは大きいと思います。

当日の朝は、空と天気予報と雨雲レーダー等を見て、この後は降らないだろう、そして開会までにまだ湿っているグラウンドを修復できるという見込みをもちました。そして、1日延ばして翌日にした方が条件はよくなることはわかっていたのですが、午後からの中学校は間違いなく実施できる、延期すれば来られなくなってしまう保護者の方もおられる、そのようなことも考えて実施を決めました。ところが、さあこれからという時に雨が降り出し、あれだけ頑張ってグラウンドの水を吸い出したのに、すぐに水がたまってしまいました。状況によってはテントの中で開会式を行うという話は事前にしていたのですが、雨が止みそうに思えず、止んでもその時にはグラウンドはかなり水たまりができていると思われ、そこでまた悩みました。すでにたくさんの保護者の方が集まってきてくださっている。子どもたちもいつでも出られる状態で教室で待機している。それでももう少し様子を見てこの状況が変わらなければ一度決めたことであっても子どもの安全を最優先に考えて延期の決断をしなければならぬと考え、そのことを教頭先生にも伝えました。しばらくして雨があたらなくなり、一部空に明るい所が見え始めた時、保護者の皆様がスポンジを手に水の吸い出しを始めてくださいました。本当にありがたい思いと「できる。」という思いが湧いてきて、PTA会長さんとも相談し、たくさんの方々の思いがこもった運動会が始まりました。最初のレースで1人の子が滑って転んでしまいました。でも、その子は立ち上がり最後まで元気に走り抜いてくれました。ゴールの時に涙が出そうになりました。そのファイトに勇気づけられたのは私だけではなかったと思います。その後も最後のリレーまで私はカーブのところに立っていましたが、カーブではみんな滑らないように力を緩めているのが見てとれました。それでも、走っている子どもたちの顔と姿は、全力を出せない、でも滑らないように気を付けて走るのも自分の力を出し切っているということ、この運動会の本番で今出せるすべての力を出してがんばっているんだと伝えてくれているように感じました。

練習の時から何度も見てきた演技や応援合戦も見事でした。今この時、全力を出し切った子

どもたちに感謝です。一生懸命計画・準備・練習に取り組んできてくれた本校職員にも感謝です。子どもたち、そして学校を支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様にも感謝です。私が自信をもって話していた通り本当にいい運動会になりました。みんなで作った運動会、主役の50人の子どもたちみんなが輝いた運動会でした。本当にありがとうございました。

午後から見せていただいた中学校の体育祭もとても良かったです。

